

五十鈴グループ（本社・東京都千代田区、社長・鈴木勝氏）はこのほど、二酸化炭素（CO₂）排出量の開示に向けた排出量実績の算定結果について、第三者検証機関の日本検査キューエイから国際基準（ISA E3000およびISO 14064-3）に準拠した第三者保証を取得した。グループ全体で排出するCO₂を可視化し、削減に向けた施策も推進。コイルセ

量の可視化、グリーン電力を発電する太陽光発電パネルの設置など、環境委員会が定めた「CO₂削減4ステップ（減らす、変える、創る、買う）」に基づいて、グループの環境施策の進捗よく管理と中長期的な削減計画の立案・実行も進めている。

五十鈴グループ CO₂排出量算定で 第三者保証取得

ンターなどの鋼板加工業者がCO₂排出量の開示や削減に取り組む例はまだ少ない。

五十鈴では2023年度から発足したサステナビリティ推進体制において、グループ横断の「環境委員会

題に対して積極的に関与し、CO₂排出量を集計し、今回、第三者の検証機関の認証により、集計の透明性と信頼性が確保された。

予定しており、五十鈴東海の岐阜SC、五十鈴中央の富士SCでも検討されている。今後も節電・省エネ施策や太陽パネルの設置、グリーン電力への契約切り替えなどを進めて、CO₂排出量を削減していく。

排出データの収集・可視化

環境委員会では24年度に

またCO₂削減に向けた省エネ施策と環境投資も実施。設備機械のインバタ

化やライン単位の電力消費

